2026年度 事業計画書

一般社団法人あわらテクノロジー協議会　第4期（2026年8月1日〜2027年7月31日）

団体の目的

ビジョン：あらゆる特性や世代が混ざり合い、クリエイティビティを発揮できる社会
ミッション：住んでいる地域や特性によらず、創作活動の機会を届ける

今年度の方針

第4期は、10代（小学4年生〜高校生）を中心に、「好き」を起点にしたテクノロジー創作の機会を広げます。あわせて、クリエイターコミュニティ「CREATIVE PARADISE」を通じて、地域のクリエイターと10代がつながる機会をつくります。拠点「まぜテクネ」の運営を続けながら、車両を導入して拠点に通えない子どもへの出張活動を強化します。ひとり親家庭など、創作の機会が届きにくい子どもへの取り組みも始めます。また、助成金だけに頼らない運営に向けて、協賛や受託事業を広げます。

事業内容

事業	内容	今年度の目標
1. テクノロジーの居場所「まぜテクネ」の運営	旧新郷小学校を活用し、10代が無償で創作活動に取り組める居場所を週3日程度開所。2027年4月からは開館日ごとに役割を持たせる（土曜：クリエイターとの共創、月曜：不登校支援、水曜：大学連携）	年間延べ来館者800名
2. フリースクール等への出張ワークショップ	フリースクールや適応指導教室に機材を持って出向き、創作ワークショップを実施。車両を導入し、嶺南地域などへも広げる	年間延べ参加者100名
3. ひとり親家庭向けワークショップ	ひとり親家庭の子どもが、費用の心配なくテクノロジー創作を体験できるワークショップを実施	2回実施、延べ30名程度が参加予定
4. 高校等でのプログラミング課外授業の受託	県内の高校などから依頼を受け、プログラミングやデジタル創作の授業を実施	受託収入50万円
5. クリエイターコミュニティ「CREATIVE PARADISE」	福井のクリエイターと子ども・若者をつなぐコミュニティの運営と、イベント「CREATIVE PARADISE」（2026年12月20日、トレタスグリーンホール）の開催	イベント来場者延べ2,000名
6. マインクラフト×宇宙 SPACE CRAFT CONTEST	県内の小中学生を対象とした作品コンテストと表彰式（2026年12月5日）	応募36作品の審査と表彰

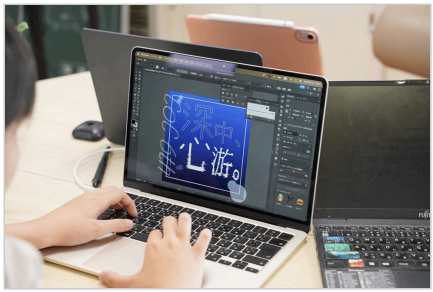
7. 来年度事業の準備	2027年4月からの新規事業（クリエイターと共に創作するプロジェクト、導入した車両で児童養護施設やフリースクールを回る全国キャラバンなど）に向けた企画と資金調達	助成・委託・協賛を合わせ2,000万円規模の計画づくり

これまでの主な実績

- まぜテクネの延べ来館者は2,500名以上。利用者の約30%が不登校や発達特性など困難を抱える子ども、約60%が女子
- 出張ワークショップは2026年度に6回、延べ50名程度が参加（2026年8月時点）
- 高校の課外授業は2024年度から計25コマ、延べ250名程度が参加
- SPACE CRAFT CONTESTには県内外から36作品の応募

活動の様子

1. まぜテクネ（VR体験、デザイン制作、子どもたちがつくったアクリルスタンド）


2. フリースクール等への出張ワークショップ（3Dプリント作品と缶バッジ、活動の様子）




4. 高校等でのプログラミング課外授業（3Dモデリングの作品と教材、授業の様子）





5. クリエイターコミュニティ「CREATIVE PARADISE」（左：創作交流会での様子）／6. SPACE CRAFT CONTEST（右：募集チラシ）